

「地域のひと、いざという時に支えあえる関係づくり」を目指して
～2016年度防災教育チャレンジプラン活動報告会～

平成29年2月18日（土）東京大学地震研究所1号館において2016年度防災教育チャレンジプラン活動報告会（主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会・内閣府（防災担当））が開催されました。防災教育チャレンジプランとは「いつやってくるかわからない災害に備え、大切な命を守り、できるだけ被害を減らし、万が一被害にあったときすぐに立ち直る力を一人一人が身に付けるための、全国の地域や学校で防災教育を推進する為のプラン」です。

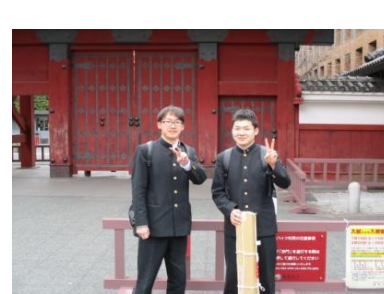
本活動報告会は午前10時から午後4時30分に渡って、プログラムの前半が2016年度実践団体による活動報告（各団体制限時間10分）、後半が2017年度実践団体の発表（各団体制限時間5分）で行われました。



展示ブースでの準備風景



展示完成図（横が長すぎて立体的に）



正門の前でツーショット

本校生徒会執行部は、2017年度実践団体（全19団体）の1つとして、事前の書類選考を通過し、本報告会午後のプログラムにおいて実践プランの発表を行いました。各団体とも制限時間の中で事前に実行委員会へ送付したプレゼンテーション用のパワーポイントデータを用いて、代表と補助の計1～2名で実行委員へ向けてプランについて発表しました。

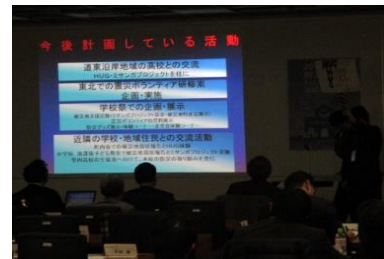
本校からは生徒会長の梅津大樹くん（2年）と生徒会書記の有田怜人くん（1年）の2名が発表に臨みました。テーマは「地域のひと、いざという時に支えあえる関係づくり」本校で2011年の東北大震災の後、2012年度から本校で取り組んでいる震災ボランティアから始まりました。震災ボランティア研修で経験したことを踏まえ、釧路町と協力して様々なイベントで防災に向けてのメッセージを伝えながら、釧路町東光町内会や霧多布高校をはじめ、釧路管内において避難所運営ゲーム（HUG）研修を通して、地域の防災意識向上につなげ、これから標津高校との交流（HUG研修など）に取り組んできたことやこれから実践したいことを発表しました。



ミサガプロジェクトの説明



震災ボランティア研修について



今後計画している活動の紹介

2017年度の1年間、今までよりいっそう、HUG研修をはじめとした防災に向けての活動を通して、地域といざという時に支えあえる関係づくりに力を入れていきます。